

知って納得!? 名前の由来!

作成：環境省 釧路湿原自然保護官事務所 渡辺欣正
協力：温根内ビジターセンター



江戸から明治にかけて、学者たちは日本の生きものたちに名前をつけました。その生きものにしかない特徴から名づけたり、昔から親しまれてきた呼び名をそのまま採用したりと、その由来はさまざま。

今回は、釧路湿原にくらす生きものたちの名前の由来をご紹介します。当時の学者たちはどなたに注目したのでしょうか。もしあなたも名付け親になれたとしたら、どんな名前をつけてあげますか？

エンコウソウ (猿猴草)

木道のそばにたくさん咲いています。名前の由来は、とある部分が「猿猴 (= テナガザル)」に似ていることから名付けられました。?!

Q.それはいったいどこでしょう

釧路湿原国立公園
おんねない

温根内道

自然情報マップ
6月

キビタキ 黄鶺
センダイムシクイ 仙台虫喰
ノゴマ 野駒
オオルリ 大瑠璃
ベニマンコ 紅猿子

通行止め

新しいビジターセンターは来春オープン予定です。しばらくの間ご迷惑おかけします。

ウグイス 鶯



カキツバタ 杜若



モウセンゴケ 毛氈苔



ワタスゲ 綿菅



カラフトイソツツジ 樺太磯躑躅



ヒメカイウ 姫海芋



ミツガシワ (三櫛)

北海道や東北などの湿原に咲くタワーのような白い花。名の由来は、3枚の丸い葉が家紋「三つ柏」に似ていることから。



オオジュリン (大寿林)

本州以南で過ごす冬のあいだ「ジュリン♪」と鳴くことが由来。釧路湿原へは夏にやってきて、きれいな声でさえずります。



ミズドクサ 水砥草



ハナタネツケバナ 花種漬花



ヤナギトラノオ 柳虎尾

絶滅危惧種



エゾハルゼミ (蝦夷春蟬)

体長約 3cm の小型のセミ。名前の通り春に成虫が現れます。



ヨツボシトンボ 四ツ星蜻蛉



ノビタキ 野鶺

憧れの夏鳥たちに会いたい!



コンロンソウ (崑崙草)

崑崙山に雪が降り積もっているように咲く白い花が由来。そもそも崑崙山とは、中国の神話に出てくる人がたどりつけないほど西のかなたにある神聖な山。どんな山を思い描いて名付けたのでしょうか。



ミツバツチグリ 三葉土栗



エゾノクサイチョウ 蝦夷草莓

小さな野花在たくさん♪



シコタンキンボウゲ 色丹金鳳花



アオジ (青鶯)

アオジの「青」は、緑がかった背中の色のこと。英名は「Black Faced Bunting (黒顔の小鳥)」。国が違っても目の付け所も違いますね。でも一番目立つのはお腹の黄色…?

100